

堺市下水道ビジョンの見直しの方向性

“拡張” から “維持管理” の岐路に立っている



戦略① 『協働』 ～局の技術と外部チャンスの結合～

戦略② 『選択と集中』 ～より一層の選択と集中～

堺市上下水道局を取り巻く情勢と新たな取組

市民の『満足』、下水道事業への『信頼』の確保の必要性の高まり



堺市上下水道局としての新たな取組

しんらいを築く
堺の下水道の挑戦



- 上下水道の事業連携
- 市民とのパートナーシップの形成
- 官民連携
- 危機管理対策の推進
- 人材育成の充実・運営体制の強化

前期アクションプログラムの進捗状況と社会情勢の変化の整理

めざす将来像	主な進捗状況と課題	社会情勢の変化等
衛生的に暮らせる まちの実現	<ul style="list-style-type: none"> • 下水道処理人口普及率は、平成26年度末で97.7%に達した • 里道・私道沿線で、地元の協力を得られない地区の整備の進捗が遅い状況 	
雨に強いまちの実現	<ul style="list-style-type: none"> • 重点地区の進捗に課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国各地で集中豪雨に対する被害の発生 • 豪雨による広島市土砂災害（平成26年8月） • 関東・東北豪雨（平成27年9月）
震災に強いまちの実現	<ul style="list-style-type: none"> • マンホールトイレの設置は順調に進んでいるが、管きよの耐震対策や建築施設の耐震化は、今後も着実に実施する必要あり • 東日本大震災を踏まえた津波対策、土木構造物の耐震化が今後の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災（平成23年3月）
川や海の水環境が 良好に保たれる まちの実現	<ul style="list-style-type: none"> • 合流式下水道の改善は、下水道法施行令に定められた平成25年度末までに目標を達成 • 大阪湾への流出汚濁負荷量は、三宝下水処理場の新2系水処理施設の稼働直後に、設備の不具合により目標を達成できない項目（COD）があったが、対策完了後は目標を達成 	
潤いと活力のある まちの実現	<ul style="list-style-type: none"> • 堺浜地区への再生水送水事業は、利用者連絡会を通じて利用者と連携して事業を実施 • 内川・土居川への再生水送水事業は、事業手法を構築し、平成28年3月に事業開始予定 	
地球温暖化対策を 推進するまちの実現	<ul style="list-style-type: none"> • 設備の改築更新に合わせて、省エネ・省CO₂機器を導入 • 三宝下水処理場の機能移転工事にあわせた創エネ機器の導入は、費用対効果の観点から未実施 	
下水道が安定的に 機能するまちの実現	<ul style="list-style-type: none"> • 処理場・ポンプ場設備は、平成25年度よりアセットマネジメントに基づく改築更新を実施 • 管きよは、劣化状況を把握するため、布設後40年を超過する管きよを対象に調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央自動車道笹子トンネル天井版落下事故の発生（平成24年12月）

(1) 衛生的に暮らせるまちの実現

- 里道・私道の下水道整備は、下水道を必要とする地区に重点化して実施
- 整備済の区域については、水洗化促進PR等の庁内連携の取組

(2) 雨に強いまちの実現 **重点化**

- 重点地区整備の着実な実施と、必要に応じた重点地区の追加
- 浸水シミュレーション技術を活用した、効率的かつ効果的な「きめ細かい対策」を検討・実施
- 危機管理対策の推進

(3) 震災に強いまちの実現 **重点化**

- 重要な管きよの追加と、必要に応じた耐震化工事の実施
- 下水処理場・ポンプ場の重要な建築施設の耐震化工事の実施
- 改築にあわせた土木構造物の耐震化工事の検討
- 危機管理対策の推進

(4) 川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現

- 合流式下水道改善事業の事後評価
- 泉北下水処理場に三宝下水処理場の膜分離活性汚泥法の設備の一部を導入し、水処理の高度化を実践
- 汚濁負荷量の削減は、3処理場トータルで達成

(5) 潤いと活力のあるまちの実現

- 再生水送水事業の継続的取組及び技術力の蓄積
- 民間事業者等からの再生水利用のニーズがあった場合、新たな事業モデル構築の検討を実施

(6) 地球温暖化対策を推進するまちの実現

- 下水道施設更新時にあわせた省エネ機器の選定
- 費用対効果に応じた創エネ機器の導入

(7) 下水道が安定的に機能するまちの実現

重点化

- アセットマネジメント手法の高度化



- 管きよの計画的調査（布設後40年以上経過管 約700kmを10年間で調査）と劣化傾向の把握
- 処理場・ポンプ場の計画的な改築更新の継続
- 維持管理情報のデータベース化と、効率的な維持管理手法の検討
- 管きよの維持管理に関する、予防保全型維持管理への移行促進
- スクリーニング調査等の新技術の導入

～様々な事業課題に対して、必要な事業を実施し、
そのうえで、将来にわたって、安定した財政基盤を構築する～

持続的な事業経営

必要不可欠

安定した財政基盤

◆安定した財政基盤の構築に向けて

- ✓ ビジョン期間内の**純利益（黒字）**を確保
- ✓ 継続して財政の健全性を確保し、**累積欠損金の早期解消**に取り組む
- ✓ 公平公正な下水道使用料徴収業務のさらなる遂行により、**収納率の向上**に取り組む

◆財政状況

- 下水道使用料収入の減少見込
- 施設の更新・耐震化事業の増加
- 支出経費に占める減価償却費の高い割合

- 資産・資源の有効活用
- アセットマネジメントによる効率的・効果的な事業執行
- 民間活力のさらなる有効活用

～財政計画と投資計画を均衡させ、持続可能な経営をめざす～

